

中学生内申絶対評価の影響 その1

愛知県教育委員会は現在中1の生徒が受験する2004年度入試から「絶対評価」に変更することを決定いたしました。そもそも中学での評価は、来年度から絶対評価に変更となることがすでに決まっていたのですが、入試には1年間のインターバルを置くことにしたようです。ですから来年の3年生(現中2)は相対評価、中1・2は絶対評価となるでしょう。

「相対評価」の問題点は以前から指摘してきました。例えば、テスト問題が簡単で高得点者が多い場合、90点以上をとっても「3」になることもあったり、1問ミスただけで「5」を逃したりすることもよくありました。特に最近は生徒数が少ないため、もし学年全体で150名しかいないと、「5」は15名しかつかないため相当熾烈な争いとなります。逆に、定期テストさえもまともにうけない横着な生徒が数多くいれば、おとなしく授業中座っているだけで「3」がつく場合も現実がありました。

「絶対評価」は基準となる課題ができていれば、全員が「5」になることもありうるし、逆に全員「3」以下ということもありうる評価法のはずです。

ひとりひとりの到達度を「絶対的に評価」するという点については、基本的には賛成です。各中学の学力レベルが同じでなければ平等にならない「相対内申」を入試に使うよりは、受験生が平等に扱われる可能性が高いからです。

ただし、そう手放しで喜んでばかりもいられないとも思っていますので、今後以下のような項目について、その影響を考察していきたいと思えます。

- ・ 真の「絶対評価」は可能なのか。
- ・ 絶対評価の基準をどのように設定するのか。
- ・ 各高校の合格の基準となる内申点はどう変わるのか。
- ・ 飛び級や落第を導入するのか。
- ・ 塾に求められるものはどう変化するのか。

'01年度1学期通知表結果

9科目別平均	英語	数学	国語	社会	理科	5科目計	音楽	美術	保体	技家	9科目計
1	4.1	4.1	3.6	3.9	3.7	19.5	3.9	3.6	4.1	3.6	34.7
2	4.6	4.6	4.4	4.1	4.5	22.1	3.6	3.8	3.7	4.2	37.5
3	4.5	4.5	4.2	4.4	4.5	22.1	3.6	3.4	3.9	4.1	37.0

5科目別内申評定割合 (%)

	英語	数学	国語	社会	理科
5	53	53	39	42	42
4	34	34	26	34	34
3	13	13	32	18	24
2	0	0	3	5	0
1	0	0	0	0	0

9科目合計内申割合 (%)

	'01	'00	'99	主な受験資格高校
40~45	32	32	29	旭丘 菊里
36~39	26	35	29	春日井
32~35	21	21	14	高蔵寺
27~31	13	12	26	春日井東
9~26	8	0	2	私立 他